

始業式 校長の話 4月6日

おはようございます。

先ほど、着任式でお話ししましたが、名前を覚えてくれましたか？

千束小学校から来た、瀧島和則（たきしま かずのり）です。

名前を覚えてほしいので、

たのしく きびしく あわせな ほいにち

皆さんは今日から新しい学年になります。

みんな1学年ずつ進級しましたね入学してきた去年の1年生は2年生へ。

5年生は、最上級生 6年生になります。

この後の入学式で弟や妹が入ってくるので、優しくしてあげましょう。

さて、校長先生が浅草小学校って、素晴らしいなと思ったことがいくつかあります。そのことを3つお話しします。

一つめは、「浅草小の子供たちって素晴らしいな」ということです。

先週の金曜日。6年生は始業式・入学式の準備のため、お手伝いに来てくれました。その時の元気なあいさつ。そして、一生懸命に働く姿。さすがは、浅草小学校の代表だと感心しました。

素晴らしい浅草小学校の子供たちと過ごすことができて嬉しいなと思いました。

二つめは、元気で生き生き、爽やかな先生方・主事さん方です。

校長先生は、まだ浅草小学校のことがよくわかりません。だから、先生方に、「〇はどうなっていますか？」とたくさん聞いてしまいます。すると、先生方は自分の仕事をおいてでも、すぐに教えてくれました。

そんな、元気で、優しく、爽やかな先生方・主事さん方と過ごすことができて、嬉しいなと思いました。

三つめは、保護者の皆様、地域の皆様方のあたたかさです。

お休みの間に保護者の皆様や地域の皆様にご挨拶にいきました。みなさん、校長先生を応援してくれて、たくさんのお話をしてくださいました。

何より浅草小学校の子供たちのことを大切に思っていました。

あたたかい皆様と一緒に過ごすことができていると嬉しかったです。

まだまだありますね。今年1年、校長先生は、浅草小学校のいいところをたくさん見つけていきたいと思っています。

最後に校長先生は「子供と近い学校 子供と近い校長」を目指していきたいと考えています。これから1年間。みんなで仲良く楽しく過ごしていきましょう。